

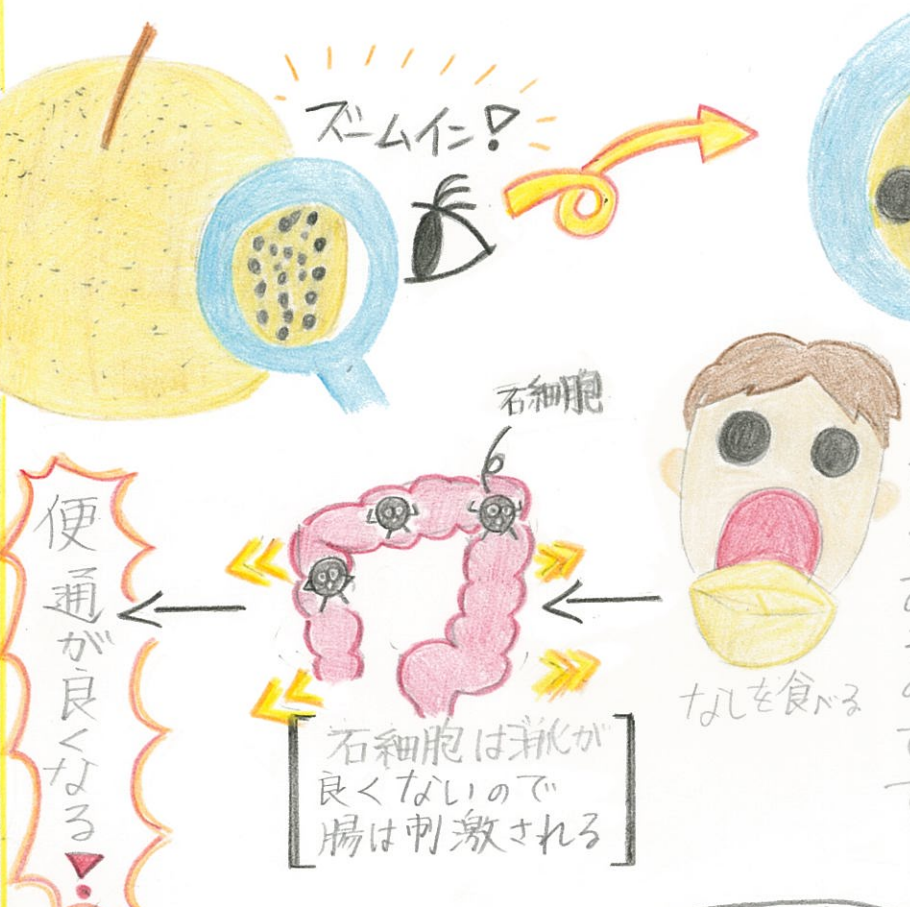
# Nashi News



## 大スクープ

## なしのツブツブの正体とは!?

みなさんは、なしを見た時、なしの表面にあるツブツブを見たことがありますか。なんだろうこれ!と思った人もいると思います。そんななしのツブツブについて、その正体をつまとめてみました。



**石細胞**です。なしのツブツブの正体は、「石細胞」です。「石細胞」は、パントサンやリケリニンという成分でできています。パントサンは砂糖などが含まれる糖の仲間です。また、リケリニンは、食物繊維であり、抗菌作用や、カニを予防する力ももっています。そんな「石細胞」は、こんな一面があるのです。

なしのツブツブは石細胞といふ体にとりて良いことをしてくれているということもわかりました。

### おいしいなしの見分け方

- 軸がしっかりしていて色ムラがなくお尻がふくらんでいるもの。
  - 重いもの
  - なしの皮がツルツルなほど熟れている
  - 二十世紀梨 → 少し黄色
  - 幸水 → 適度な赤み
- 梨を買うとき、これを活用して梨選びをしたいです。

なしを使った色々な言葉

梨園 (歌舞伎界を意味する。故事に由来)

梨の花 (一枚春雨を帯ぶ)

美人の梨 (以外にも様々な果物の梨) (だれかと思いましたが)

なしのつぶで「梨の磔」

便りを出しても、先方からさっぱり返事が来ないこと。

「りかい」は「るあめをおぼりかい」

「梨」は「量本」

「なし」は「日」

「なし」は「量本」

「なし」は「日」

## 千葉県!

## なんぞでなしと呼ぶの?!

私たちが「なし」と呼ぶなし。なんぞその名前がついたのでしょうか。これには諸説ありいくつか紹介します。

- 果肉が白いため「甲白」→「なし」
- 風があると実らないため「風なし」→「なし」
- 甘いため「甘し」→「なし」
- 漢語(中国の昔の言葉)の「梨子(らいし)→「なし」

などです。「なし」としても、色々な説があるということになりました。

### 編集後期

私は、この「なし新聞」をかいで、なしのことで、疑問に思っていたことをすべて解決することができました。梨を使った言葉では、今まで知らなかった、果物としての「梨」以外の「梨」を知ることが出来、他の果物でもそのようなことを調べてみたいと思いました。また、おいしいなしの見分け方では、なしを買った時のヒントになります。今、おいしいなしが食べられそうです。今回、なしのことをたくさん調べることが出来、嬉しくまた梨が食べたかったです。